

伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1.この計画をなぜ作るのか

【現状】

- 令和6年4月に「ゼロカーボンシティ宣言」
⇒市民、事業者、行政が一体となって脱炭素社会実現をめざす！
- 本市CO2排出量の約70%が産業部門（全国平均42%）
⇒運輸部門約13%、家庭部門約8%、業務その他部門8%
(2022年度版CO2自治体排出量カルテ)

【課題】

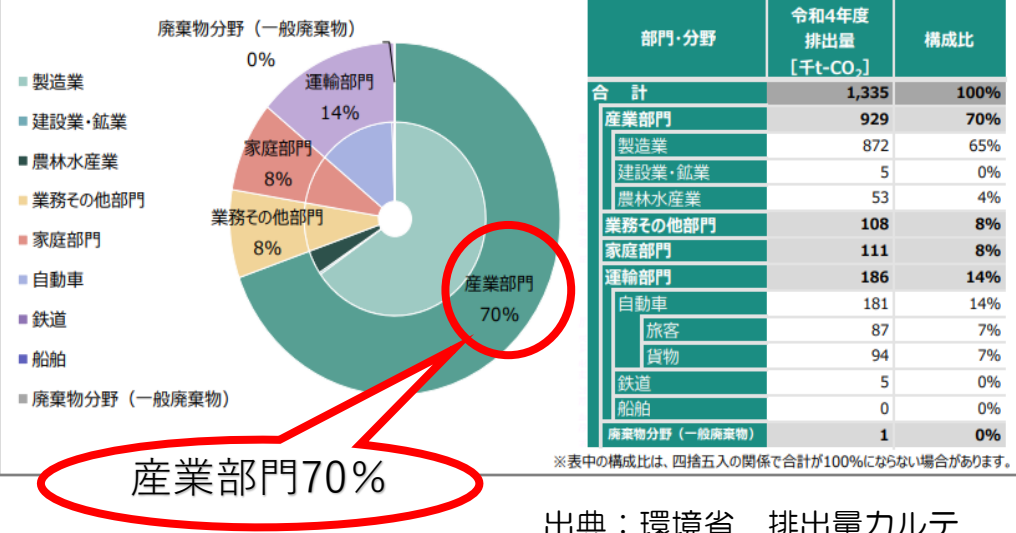
- 経済活動を抑制せずCO2排出量削減に取り組む必要性
- 市民・事業者が自主的に取り組む機運を醸成する必要性
⇒運輸部門、家庭部門をはじめ、各主体の自主的な取り組みにより
市全体のCO2排出量削減を図ることが重要

2.どんな計画なのか

【地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定】

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、最初の10年間の計画を策定
- CO2排出量を削減と地域活性化や地域課題の同時解決を図る
- 再エネ・省エネ促進、交通対策、吸収源対策、循環型社会形成、地域経済・社会の持続的発展に資する取組等
(地球温暖化対策推進法)

3) 部門・分野別CO2排出量構成比 令和4年度（2022年度）



出典：環境省 排出量カルテ

3.策定のながれ

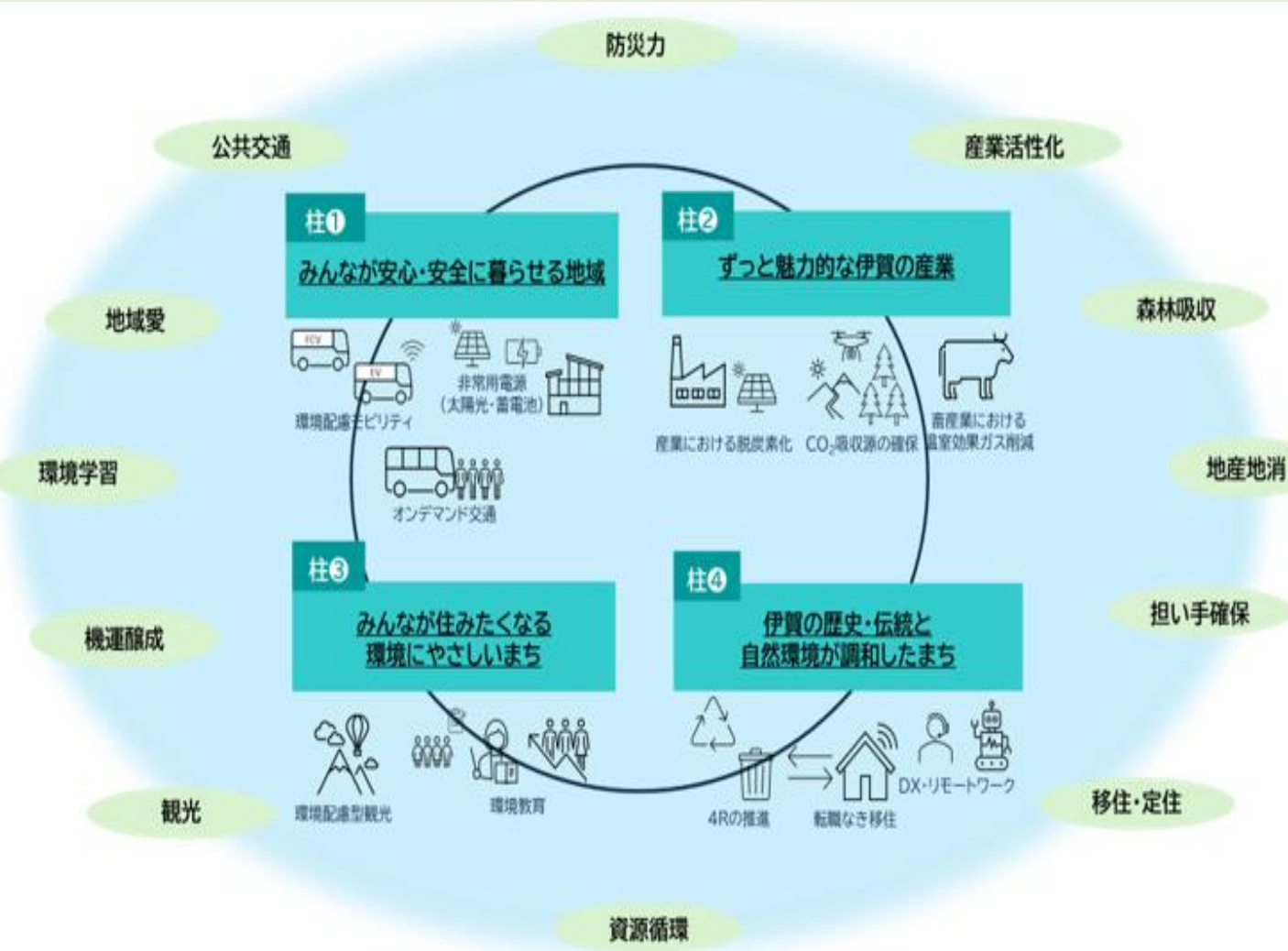
- ①8/22～9/16 ※市民・事業者無作為抽出アンケート
(市民2000人、事業者200社)
- ②10/30 ※伊賀市環境審議会 ◀
- ③11月中 ※中間案取りまとめ
- ④12月中旬以降 ※パブリックコメント募集
- ⑤令和8年2月下旬 ※最終案完成予定

4.この計画の将来像と実現したイメージ

望ましい将来像

ゼロカーボンシティを実現した地球にやさしい 忍びの里伊賀

計画の構成



ゼロカーボンシティを実現したイメージ図

基本方針	基本施策
省エネルギー対策	<ul style="list-style-type: none">✓ 省エネ行動の普及啓発・促進✓ 中小企業の省エネ化・脱炭素経営の推進✓ 住宅・建築物の省エネルギー化の促進
地域に適した再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none">✓ 公共施設における再生可能エネルギーの率先導入✓ 市民・事業者における再生可能エネルギーの導入促進✓ 次世代型エネルギーの利活用に関する調査
脱炭素型まちづくり	<ul style="list-style-type: none">✓ 次世代型自動車の普及促進✓ 自転車利用、公共交通の利用促進✓ 脱炭素に貢献するDXの推進✓ ゼロカーボン×地域特性を活かした観光の推進
持続可能な循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none">✓ ごみの減量化の促進✓ 食品ロスの削減・有効活用✓ リサイクルの推進
農林分野における取組強化	<ul style="list-style-type: none">✓ 豊かな森づくりによる森林吸収源対策の促進✓ 畜産における取組の推進